

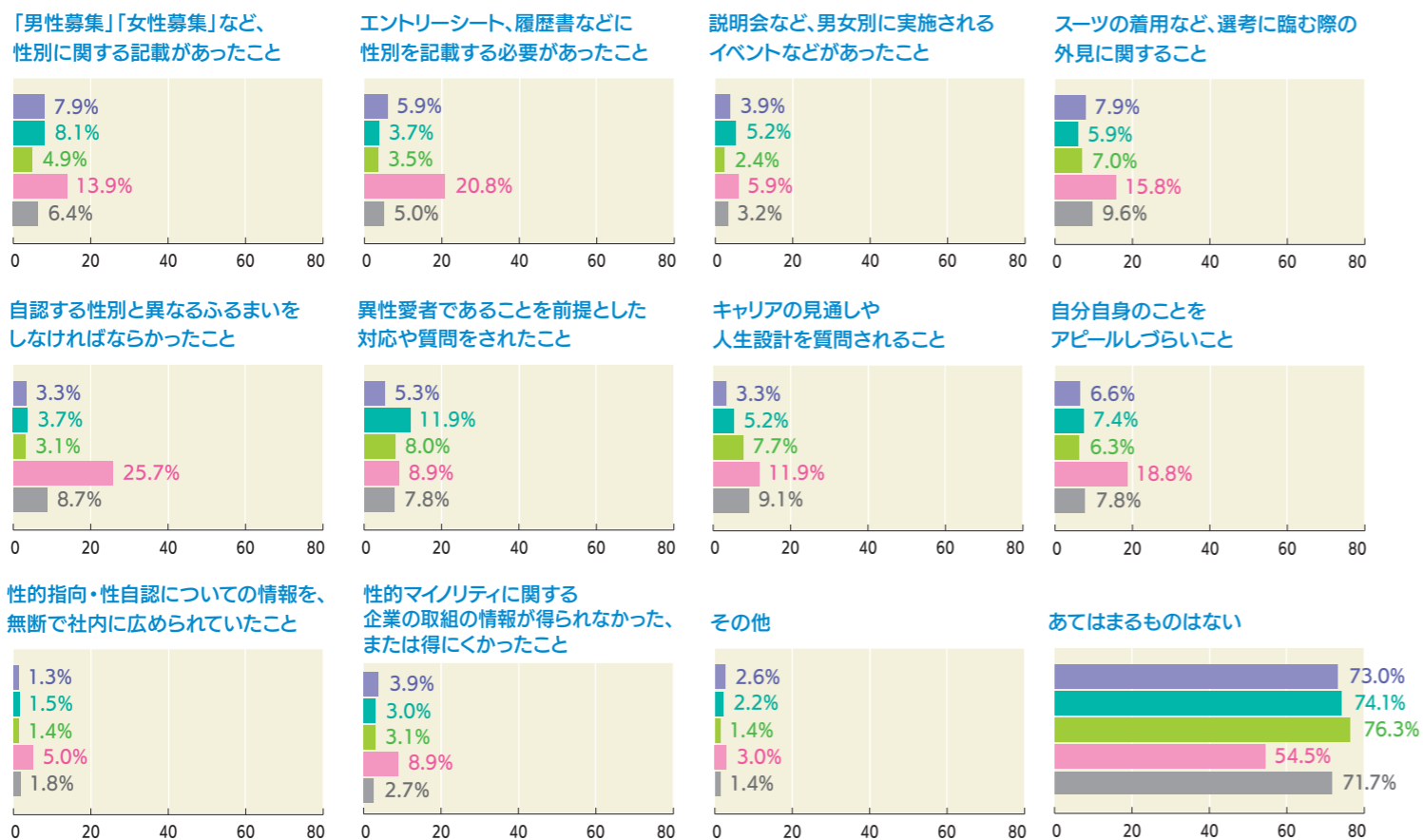
当事者の困りごと

これまでの就職活動でセクシュアル・マイノリティであることを理由に困ったこと

セクシュアル・マイノリティは就職活動の過程で様々な困難に直面します。トランスジェンダーにとって大きな問題は、就職活動の中で性別を問われる場面が多いことです。戸籍上の性別に従ってふるまうべきか、性自認に従ってふるまうべきかの判断が大変難しいのです。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルでは「異性愛者であることを前提とした対応や質問をされたこと」などがあります。



※レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、シスジェンダーについてはP3の「LGBT・LGBTQについて」をご覧ください。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング「令和元年度職場におけるダイバーシティ推進事業(労働者アンケート調査)」(厚生労働省委託事業)令和2年3月

就職活動での困りごとエピソード

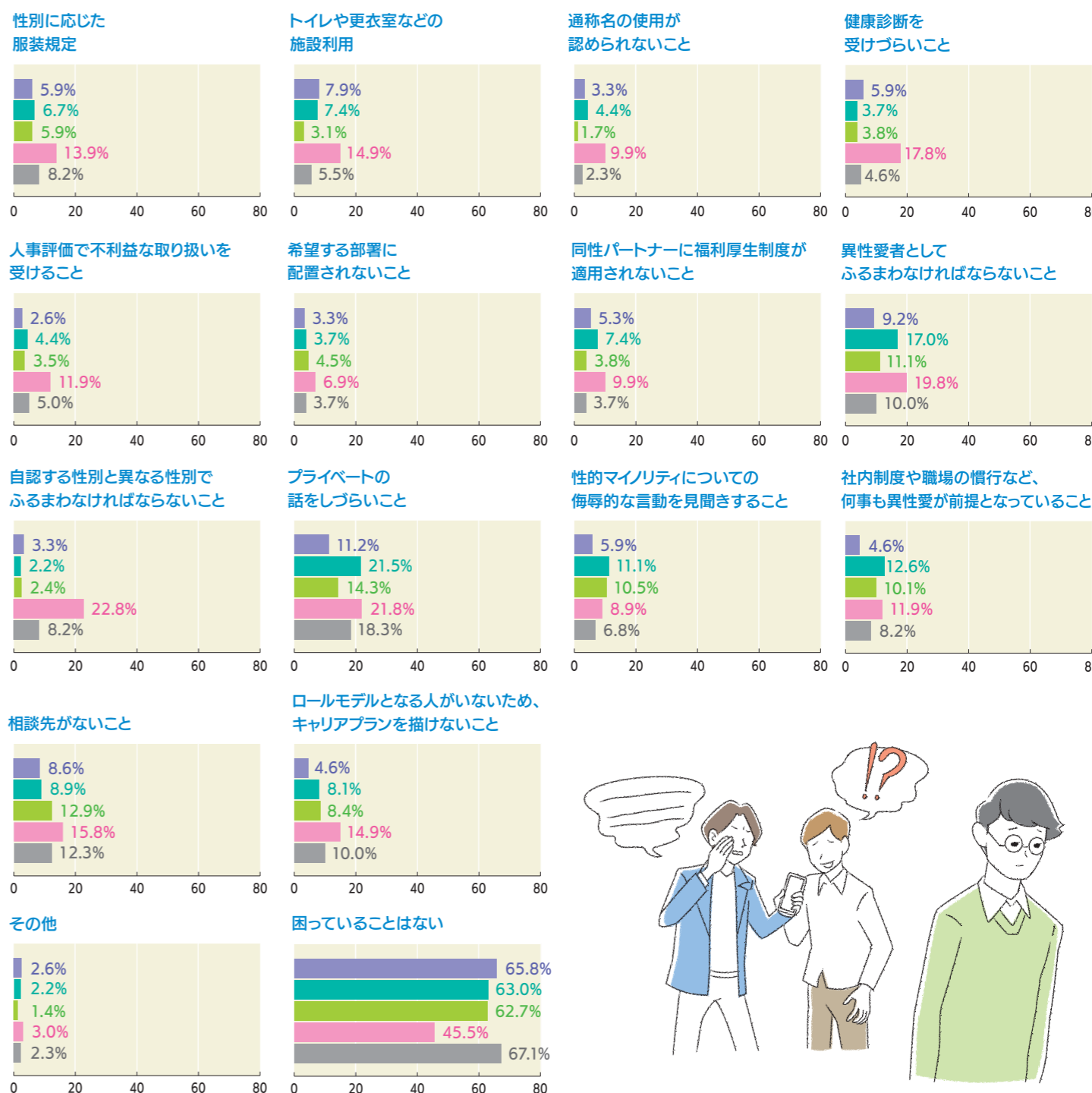
- 20代 トランスジェンダー:** 履歴書を提出する時に、性別記入欄を男女のどちらを打てばいいのか戸惑った。
- 20代 レズビアン:** 大学生の時にはLGBTQサークルに所属していましたが面接時に「学生時代に最も力を入れていたことは？」と質問をされ、答えることが出来なかった。
- 20代 トランスジェンダー:** 面接時にトランスジェンダーであることをカミングアウトしたら面接を打ち切られてしまいました。
- 20代 ゲイ:** 取組をしている企業を調べても、中部地区では取り組んでいる企業があまりなくて困った。
- 20代 トランスジェンダー:** 就職をして性別変更をしたいと思います、どこの企業が制度を整えているのかわからない。

働く上でセクシュアル・マイノリティであることを理由に困っていること

セクシュアリティによって困りごとは異なりますが、セクシュアル・マイノリティの当事者は、「プライベートの話をしづらい」「異性愛者としてふるまわなければならない」「自認する性別と異なる性別でふるまわなければならない」など職場で自分らしくふるまえなかったり、「健康診断を受けづらい」など様々な困難で困りごとを抱えています。困っていても、職場に相談窓口がなければ誰にも相談できず、様々な困りごとを一人で抱え込みやすくなります。



※レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、シスジェンダーについてはP3の「LGBT・LGBTQについて」をご覧ください。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング「令和元年度職場におけるダイバーシティ推進事業(労働者アンケート調査)」(厚生労働省委託事業)令和2年3月

